

産院 音々でご出産を希望される方へ

■産院 音々の理念

私たちは「幸せなお産」のために

女性の裡なる力が発揮されるよう、チームワークを大切にした継続ケアを提供します。

■基本方針

①ひとりの産婦さんに助産師 2~3 人チームで妊娠・出産・産後まで継続的にサポートします。

(My助産師制度の導入)

②助産師は、医療介入を最小限に抑えるケアを提供するとともに、医療介入が必要な時期を的確に判断し、医師と協力して安全なお産のサポートをします。

I. 産院 音々でお産をお引き受けできる方

- ① 初期妊娠リスク自己評価表にて3点以下の方、もしくは医師・助産師と協働して出産可能と判断した方。
- ② ご自分の身体を自分で整えることのできる方。
- ③ 産院 音々の理念を理解し、体制について同意できる方

(正常経過であれば助産師チームのみで出産介助。産婦人科医師1名常勤は異常時のみ呼び出し制です。)

II. いろいろなお産の方法

- ① 自然分娩:医療的介入の必要なく自然な陣痛でのお産。➡当院での主な出産方法
- ② 促進・誘発分娩:陣痛が弱い、お産の進みが遅い、予定日超過など、薬剤などを使いお産を助けます。
- ③ 吸引・鉗子分娩:出産間近だが赤ちゃんが出にくい時、器具を使ってお産を助けます。
※②③については助産師と医師の判断でやむを得ず必要最小限行うこともあります。
- ④ 帝王切開:赤ちゃんの大きさや、胎盤の位置などの関係で予定して行う場合とお産の経過中に母子どちらかに異常があり、緊急で行う場合があります。➡当院では行いません。
- ⑤ 無痛分娩:陣痛が始まってから痛みを感じないように麻酔薬を使いお産を助けます。➡当院では行いません。

III. 健診～出産～1か月健診までの流れ

- 妊婦健診は一人の産婦さんに対し受け持ち制で2~3人の同じ顔触れのチーム助産師が行います。全体の4回程度、医師の健診を受けて頂きます。(別紙の妊婦健診のスケジュール参照)
- お産は妊婦健診と同じメンバーの助産師2~3人チームで関わります。異常が予測される時、異常時、緊急時、医師はいつでも駆けつけます。
- 陣痛が始まったら、チームの担当助産師の携帯電話にご連絡ください。(24hOK)
心配なこと・気になることがあればいつでも遠慮なくご連絡ください。
20週頃に担当助産師の連絡先をお知らせします。
- 出産の立ち合いは(感染症の無いことを確認のうえ)産婦さんの希望される方ならどなたでも可能です。
小さいお子さんの場合は親御さん以外にもお付き添いの方をお願いする場合があります。
- 産後入院日数をご希望に応じますのでご相談下さい。経過がよければ、早めの退院も可能です。
早期退院後は助産師が自宅訪問し、お母さん(おっぱいケアなど)と赤ちゃん(沐浴、体重測定、

黄疸チェックなど)のケアは産院と同じケアが同じチーム助産師から受けられます。

- 赤ちゃんの出血予防のため、生後1日目・4日目・1ヶ月目にビタミンK2シロップを飲みます。
- 赤ちゃんの先天性代謝異常検査(生後4日目)・新生児聴覚検査(生後3~4日目)を行います。
- お部屋は全室個室、母児同室です。(お風呂、シャワーは共同ですが好きな時間に入ることができます)
- お食事は御代田中央記念病院から提供されます。(朝食7時半・昼食12時・夕食18時・おやつ2回付き)
お茶はポットでお部屋にご用意致します。飲食の持ち込みも可能です。(院内フロアに共同冷蔵庫あり)
家族食もご用意できます。(朝食1100円・昼食1200円・夕食1200円)

小諸市の「農カフェわのん」さん特製 *産後のお母さんの身体にやさしい いのちのお祝い膳*
退院前日の昼食または夕食時に希望により承ります(御一人様4000円税込)

- 面会時間は、13時~20時です。
- 産後(2週間・1カ月)健診があります。お母さんの退院前、産後健診の診察は希望により医師が行います。

IV.入院費用について

- 入院費用は約65万円前後。
(分娩所要時間6時間まで、分娩後4日間入院の場合。別途、保険診療分が発生する場合があります)
- 当院は産科医療補償制度加入施設であり、出産育児一時金直接支払制度をすすめております。
(入院費用には産科医療補償制度支払い金12500円が含まれています)
- 入院請求明細書を退院前に発行致しますので御代田中央病院会計窓口にて現金でお支払いのうえ、領収書を音々にお持ちください。(カード精算はできません)
窓口でのお支払い額 入院費用-42万(出産育児一時金)

V. 高次医療機関への転院・搬送について

妊娠中: 早産 36週未満・骨盤位・予定日超過・感染症合併・妊娠高血圧症候群等異常が予測される場合。

出産中: 胎位異常・異常出血・高度の羊水混濁・発熱・胎児心拍異常・分娩遷延・子宮、胎盤の異常等が予測される場合。

出産後: 母体の発熱・出血が止まらないなどの異常、赤ちゃんの呼吸状態や全身状態・重度の黄疸などの異常がある場合。

○上記以外にも、ご本人・ご家族の希望に応じた転院・搬送も致します。

母子ともに安全なお産を行うために、スムーズな転院・搬送はとても重要なポイントになります。

緊急の医療介入が必要な場合は下記、高度医療機関への搬送時間等も考慮し早めの転院・搬送を心がけています。

佐久医療センター・地域周産期母子医療センター

〒385-0051 長野県佐久市中込字西大堰手前 3400-28

TEL:0267-62-8181(代表)

長野県立こども病院・総合周産期母子医療センター

〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100

TEL:0263-73-6700(代表)

VI.連絡先について(20週までの連絡先)

御代田中央記念病院 産婦人科外来 ☎0267-32-4711(代表)

【休診(木曜日)、午後休診日(土・日曜日)、夜間は事務当直から医師に連絡をします】